

和佐の里における園芸療法の実践

医療・介護・福祉機能

社会医療法人 れいめいかい 黎明会、介護老人保健施設 わ さ さと 和佐の里



和佐の里

医療法人として、病気の治療だけでなく、地域の人たちにいつまでも穏やかに暮らしてもらうために開設し、医療、介護、健康の面から支援している。

園芸療法は、心身の機能回復や認知症対策としても実践されている。中庭のレイズドベッドや隣接した専用の畑には、四季折々の花や野菜が植栽されており、屋内での作業も含め、四季を通じた園芸療法プログラムが行われている。



ひだかがわちよう
和歌山県日高川町



療養者が自ら作業を行い
指導者はそれを手助けする

【医療・介護・福祉】

園芸療法は病気の改善に対して驚異的な変化をもたらすものではなく、その効果はゆっくりと現れてくるもので、活動中の言動の変化や表情、作業プロセスを大切に、療養者の心身機能の維持向上や認知症予防、生活の質を向上させることを目的に実践している。園芸療法による効果として、認知症のBPSD(周辺症状)の軽減、脳梗塞後遺症による高次脳機能障害の改善、血圧の安定などの効果が確認されている。

【体験学習と教育】

園芸療法の実践のみでなく、園芸療法士の育成に向けた人づくりの場としての役割も担っている。



レイズドベッド
(立ち上げ花壇)



療養者が作った寄せ植え



手先を使うことも
療法の一つ



耕起作業

(社会医療法人 黎明会
介護老人保健施設 和佐の里)

<http://www.reimeikai.com/publics/index/12/>